



代表理事組合長
谷口熊一

年頭のごあいさつ

自己改革の実践・加速に向けて

新年あけましておめでとうございます。
平成30年の輝かしい新春を迎え、謹んでみなさまのご繁栄とご多幸・ご健康をお祈り申し上げます。

常日頃は、JA越後おぢやの事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、今年は合併15年目の節目の年となります。農業・農協を取り巻く環境変化がめまぐるしいなか、ここまで来られたことに、組合員をはじめ地域のみなさまに感謝申し上げます。

農業面では、平成29年産米は全国の作況指数100のなか、新潟県96、小千谷市を含む魚沼は「97やや不良」という豊作だった一昨年と一転して厳しい結果となりました。当JAの集荷数量も契約数量を約一万俵下回る結果となり、減収が農家経済にも大きな影響を及ぼした年でした。また県認証5割減化学肥料として使用していた肥料の汚泥混入問題が発覚いたしました。ご使用されていた多くのみなさまから、県認証栽培米の取り下げにご協力をいただきなど厳しい年でもありました。しかしながら、みなさまからのご理解により取り組んでいます5割減減米は「やや不良」の昨年でも結果は確実に出てきております。一方、昨年より本格販売された新品種「新之助」は、収量・品質ともバラツキが多く、引き続き検証が必要と感じています。販売面では、全国で生産目標数量が達成されたことから需給が引き締まってきておりますが、家庭主食用米過剰、業務用米不足の状況は変わりません。29年産米は品薄感から契約は進んでいますが、慎重な在庫となっております。大手コンビニエンスストアとの取引は一昨年と同様な取引が見込まれています。園芸については、試作圃の設置・生産拡大にご協力をいただきました。販売面では主力作物目力フラワー、スイカは順調でしたが、野菜類は天候不順・市況等の影響により厳しい状況となりました。

JA自己改革にかかる取り組みでは、「水稲・園芸主要肥料特別価格」「園芸資材奨励」「カントリーエレベーター（以下 CE）コシヒカリ平日受人奨励」「コンバイン格納整備奨励」「水稲銘柄誘導対策・CE利用料 対象品種追加」を新たに加え「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に取り組んでまいりました。

基幹作物である米は、今年から国による生産数量目標の配分等がなくなり、農業者・集荷業者等が自ら米の需要と供給のバランスを考え、生産に取り組んでいくこととなります。JAでは、小千谷市農業再生協議会の「30年産以降の米政策基本方針」のもと「JAグループ新潟・新潟米基本戦略」にJA販売戦略を加味し、より一層消費者・実需者から求められる高品質で安全・安心な「おぢや米」の生産を進めます。そのため、「魚沼産コシヒカリ」を主力として、実需者からは「魚沼産業務用米」を求められていることから、業務用米を含む主食用米並びに加工用米・輸出用米などの水田活用米穀（非主食用米）を合わせた米全体の需給拡大と多様な米づくりに取り組めます。生産者のみなさまには、需要に応じた米づくり並びに水田フル活用の観点から、ご理解・ご協力をいただきますよう、重ねてお願いいたします。また肥料・農薬など生産資材価格の引き下げと併せ、引き続き園芸振興に積極的に取り組むなど、農業所得の向上に取り組んでまいります。

また、昨年4月1日に、待望のJA新潟厚生連小千谷総合病院が開院いたしました。記念すべき「第1回病院祭」と併せ「おぢや農林まつり」を開催し悪天候にもかかわらず多くのみなさまからご来場いただきました。ありがとうございます。JAグループによる地域の中核病院として、医療・保健・福祉の一体的なサービス提供が期待されています。地元JAとして、引き続き運営に協力してまいります。

JAの基本的な姿は、「食と農を基軸として地域に根差した農業協同組合」として、その行う総合事業により農業並び地域振興に一体的に取り組むというものです。今取り組んでいますJA自己改革は、政府の規制改革実施計画で平成31年5月までを「農協改革集中推進期間」、平成33年4月が「改正農協法5年後検討条項」の期限であることを踏まえ、基本目標として掲げた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実践を加速してまいります。

地域農業の構造変化や高齢化等による農業者の減少と多様化に一層拍車がかかることが懸念されます。JAだけでは目指す「持続可能な農業」「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現することはできません。組合員をはじめ地域のみなさまからも、ぜひJAの事業や活動に参加をいただき「農業と地域経済を共に支えるパートナー」として応援をお願いいたします。

また、合併15周年を迎え、記念旅行を企画しています。ぜひご参加をお願いいたします。本年も「組合員の負託に応え、地域社会に貢献する」を経営理念に「みなさまに信頼されるJA」「地域に貢献するJA」を目指し、「自己改革」を加速して組合員・地域のみなさまとともにこれからも歩んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年の干支は「戊戌（つちのえいぬ）」です。戌の文字は「滅」の意味があるということですが、それは滅びや朽ちるという意味ではなく、「次に命を繋ぐ」「新しい命を守る」ということでもあり、とても縁起のいい年回りだそうです。犬は「安産、母子の健康、子育て」のお守りにもなっています。「農」はまさに「命を育み、それをいただくもの」ですので「農業振興」「人口増加」につながるよう「戌（犬）年」に期待しています。

最後に、今年が豊作であり、みなさまが元気で明るく過せるより良い年であることとご繁栄・ご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

あけましておめでとうございます

本年もJA越後おぢやをよろしくお願いたします

- | | | | | | | | |
|---------|-------|----|-------|----|-------|-------|-------|
| 代表理事組合長 | 谷口 熊一 | 理事 | 高橋 晴美 | 理事 | 金崎恵美子 | 代表監事 | 大矢 保 |
| 常務理事 | 小宮 博行 | 理事 | 丸山 啓治 | 理事 | 横田 雅夫 | 監事 | 川上 忠義 |
| 常務理事 | 藤島 睦 | 理事 | 樋口 秀夫 | 理事 | 堀井 修 | 員外監事 | 吉澤 榮一 |
| 理事 | 和田 稔 | 理事 | 安達 高 | 理事 | 堀澤 富一 | 理事 | 細金 靖 |
| 理事 | 谷風 政春 | 理事 | 阿部 廣 | 理事 | 今井 信一 | 外職員一同 | |